

平成29年度 竜丘公民館 事業報告

	事業名等	実施内容	反省・総括
文化事業	(事業名) 竜丘市民大学講座 (期 日) 第1講 9/15(金) 参加人数 35名 第2講 2/14(水) 参加人数 65名 《生涯学習の推進》	竜丘を学び今後の地域づくりに生かしていくことを目的とし、時代に即したテーマを検討し、年間を通じて開催する。 今年度のテーマは「竜丘のモノづくり」丘のみちしるべを活用し、今までの市民大学講座を振り返りながら企画。 第1講 ～近未来～ 講師:飯田コアカレッジ 主任研究員 高橋伸幸氏、(株)JMC専務取締役CEO 鈴木浩之氏、(有)シナノ精密 代表取締役社長 林秀寿氏・取締役営業課長 鹿角政治氏 第2講 ～農業もすてたもんじゃない～ 講師:農業委員 原正義氏、農地利用最適化推進委員 今村悦夫氏、農家 牧島亮夫氏、農家 木下淳氏	昨年度に引き続き、今年度のメインテーマは「竜丘のモノづくり」で実施。第1講はバーチャルリアリティの体験を行い、ロボット関係に携わる事業者の方に講演をいただいた。中学生の関心を集め、10名の中学生が聴講してくれた。第2講では農業を取り上げ、現状の課題だけでなく、農業の魅力や可能性を感じてもらえる講座を行うことができた。 2年間で精密・食品・農業といった分野を取り上げることができ、モノづくりのテーマとしては一つの節目となった。 公民館委員、自治会役員の研修の場にもなっている。また、小中学生だけでなく、先生と一緒に考える機会にもなるため、コミュニティスクールの観点からも常に小中学校に声を掛けるようにしていきたい。
文化事業	ふるさとコンサート (期 日)7/17(祝) (参加人数)130名 《文化の伝承と充実》	一流の音楽家による演奏を気楽に楽しみながら、音楽を身近なものとして親しみ、音楽を通じた住民の交流の場とする。	金管五重奏団Art Brass 5による講演が行われた。 緑ヶ丘中学校吹奏楽部の参加が無かったこともあり、例年よりお客さんが少なかった。来年は参加していただくように調整したい。 喫茶スペースにも音が届くよう調整したい。 交流会では恒例となった野楽路の皆さんによる郷土料理の振る舞いが好評だった。
文化事業	いいだ人形劇フェスタ 竜丘地区公演 (対 象)子ども一般 (期 日)8/1～8/6 (会 場)9会場 (参加人数) 1205名 《文化の伝承と充実》	竜丘地区内では11劇団による9公演を実施。恒例となっていたマラソン公演をやめ、観劇者、劇人、そしてスタッフも全員が楽しめる公演づくりに取り組んだ。 分館でも会場ごとの実行委員会を組織し、交流や催し物など特色ある取り組みを実施した。	観る、演じる、支える、みんなが楽しめる、質の高い竜丘地区公演を目指した。スタッフの中には劇人さんとの交流ができなかった方もおり、全員が楽しめるよう改善していきたい。 マラソン公演ではなくしたが、もう少し劇団が多くて良いという声もあり、竜丘らしい人形劇フェスタを模索していく。 ボランティアの方々の活躍に支えられ、円滑な運営が行えている。今後ともお願いしたい。
文化事業	竜丘地区文化祭 (期 日)11/11(土)、 12(日) (会 場)竜丘公民館 (参加人数)1,300名 《生涯学習の推進》 《文化の伝承と充実》	(1)地区内団体、グループ、個人が日頃の活動の現状や成果を発表、交流する。 (2)地域における文化活動を活発化させ、地区民の親睦を図る。 (3)公民館と参加団体による実行委員会を組織して企画、運営にあたる。	特別企画展では、市民大学講座のテーマに合わせて、企業の展示ブースを設け、9社の展示をすることができた。 野楽路のそばの売り上げは過去最高の500杯を記録した。1日目のカネトの公演や、特別企画展でのVR体験、ステージ発表での漫才など、話題性も豊富で、2日間とも晴天に恵まれたこともあり、非常に多くの方が訪れ盛り上がった。 ステージの設置場所や、宝投げの時間などの改善点や、地産地消の取り組みをしてはどうかといった前向きな意見もあり、来年に生かしていきたい。

平成29年度 竜丘公民館 事業報告

	事業名等	実施内容	反省・総括
文化事業	成人式 (期日)1/7(日) (会場)竜丘公民館 (参加人数)154名	(1)地域を担う若者たちのために、 鈴岡太鼓の演奏、野楽路さん、おい しんぼプラザさんの料理、長野原煙 火会の皆さんの花火など、地域をあ げて新成人を祝福し激励する。 (2)新成人自身が社会的自覚を持 ち、また地域に対する理解と愛着を 持てる交流の場、懇談の場とする。 (3)実行委員会を組織し、新成人自 ら企画運営に携わり、成人式を通じ て、地域を知り、地域へ参画する第 一步となることを期待して行う。	実行委員には男性4名、女性3名の 7名が参加してくれ、記念誌づくり、 緑ヶ丘中学校学区の恩師のビデオ 撮影をし、当日の企画運営を行っ た。 当日は、おいしんぼプラザの皆さん による料理や、野楽路の皆さんの手 打ちそばの振舞いを受け、長野原 煙火会の皆さんの祝いの花火を見 ることができ、新成人の皆さんの良 い思い出になったと思う。 祝賀会では、乾杯後10分間動かず に同じテーブルの来賓、地区役員 の方々との交流を促した。 立食時の椅子や、テーブルへの地 区札、記念品の配布について課題 もあった。
文化事業	第23回ニューイヤーコ ンサート (期日)1/21(日) (会 場)竜丘公民館 (参加人数)550名 《生涯学習の推進》 《文化の伝承と充実》	大人から子どもまで楽しめる、身近 な音楽の催しとして実施。 竜丘在住のメンバーを中心とした音 楽グループに呼びかけ、音楽を ベースにした新年の交流の場とす る。	竜丘地区で音楽・文化活動をする 団体の重要な発表の場となっている。 出演団体は昨年より1団体減り、 15団体であった。 毎年参加してくれていた緑ヶ丘中 学校吹奏楽部が、コンクールを勝ち進 んだため参加が叶わなかったが、 緑ヶ丘中学校合唱部の方々の素晴 らしい歌声で、今年度のプログラム を終えることができた。 最後にみんなで歌う「ふるさと」につ いて、事前の打ち合わせが足りな かった。マイクの調整や、運営スタッ フの待機中の会話など、細かな点を 修正し、気持ちよく新年のコンサ ートを楽しめるように、企画運営をし ていきたい。
体育事業	夏季スポーツ大会 (期日)5/21(日) (参加人数)150人 《スポーツ振興》	スポーツを通じて、地域住民の親睦 交流と、健康の維持増進を図り、活 力ある地域づくりにつなげる。 今年度は、各分館から年代別3人1組 の8チームによる、ペタンクマスタ ーズの実施に加え、クップを新種目と して採用し、6人1組で対抗戦を実施 し、ニュースポーツの推進を図った。	世代をまたいで多くの住民が一緒 に楽しみ、体を動かしながら親睦を深 められる種目として、昨年に続きペ タンクマスターズを行った。 また、ニュースポーツ推進の点か ら、クップを分館対抗競技として、竜 丘ルールを設けて実施。参加した選 手の方々も大変楽しんでいただい けた。誰もが楽しめる競技にしてい きたい。 前年度の意見を受け、午前中開催 に変更した。それでも気温は高かっ たが、変更して良かった。
体育事業	3地区合同バレー ボール大会 (期日)12/10(日) 《スポーツ振興》	竜丘バレーボール連盟他 竜丘からはミラクルズとナイスミドル ズの2チームが参加	竜丘からは2チームが参加し、7チ ームによる2つのリーグ戦を開催。ミラ クルズが総合3位と健闘した。 開催時期の調整が毎年難しいが、 緑ヶ丘中学校学区の良い交流機会と なった。

平成29年度 竜丘公民館 事業報告

	事業名等	実施内容	反省・総括
体育事業	竜丘市民運動会 (期 日)10/8(日) (参加人数)3,200名 《スポーツ振興》	<ul style="list-style-type: none"> ・多くの地域住民が練習や大会で集い、親睦・交流を深めると共に、健康増進に繋がる機会を提供する。 ・誰もが参加でき、楽しめるよう種目内容を工夫する。 ・大会運営をスムーズに行い時間通りの進行に努める。 ・準備運動から整理体操まですべての競技種目について、昨年度の反省を踏まえより良い競技内容となるよう、スタッフ会、体育委員会にて審議、検討を行う。 ・中学生スタッフに協力してもらえよう、積極的に働きかけを行う。 ・飯田OIDE長姫高校生の提案種目の受け入れと、支援を行う。 	<p>3年振りの運動会で大変盛り上がり、良い交流の場が出来た。中学生スタッフも積極的に動いていただき、スムーズな運営ができた。飯田OIDE長姫高校生による種目では、笑顔が溢れ、地域一丸となった良い種目であった。運営上では審判係や体育スタッフが把握できていないルール上の事案もあり、来年度に向けて徹底及び検討していく。</p>
体育事業	飯田市女性バレーボール大会 (期 日)11/12(日) 《スポーツ振興》	上郷小学校と上郷体育館で実施。駄科分館が代表として出場。	今年度は駄科(ママさんバレーボール)が代表として出場。試合結果は上久堅、鼎に惜敗であったが、駄科分館の応援にも熱が入り、他に負けない応援だった。分館役員だけでなく、家族等も一緒に応援ができると良い。
体育事業	飯田市ニュースポーツフェスティバル 《スポーツ振興》	11/12 囲碁ボール・大縄跳び	竜丘から多くのチームが囲碁ボールに参加し、優秀な成績を収めていた。竜丘のレベルは市内トップクラスと思われる。文化祭と重なった中、参加いただきありがたかった。大縄跳びには体育スタッフを中心に参加したが、各分館の若い方や、運動会の一位だった分館に声を掛けて出られると良い。竜丘小学校の参加が無かったのは残念だった。
体育事業	冬季スポーツフェスティバル (期 日)12/3(日) (参加人数)180名 《スポーツ振興》	誰もが気楽に体を動かし親睦を深められるよう複数の種目を取り入れ実施。 種目1:ワンバウンドふらば～るバレー 種目2:囲碁ボール 種目3:スポーツ吹き矢	今年度もワンふら、囲碁ボール、スポーツ吹き矢で実施した。世代を跨いで多くの住民と一緒に楽しみ、体を動かしながら親睦を深めることができた。また、多くの方が参加できる種目を考えていきたい。
体育事業	緑ヶ丘中学校区スポーツ推進委員体育委員交流会 (期 日)2/11(日) (会 場)松尾小学校 《スポーツ振興》	(1)アイスブレイキング (2)ワンバウンドふらば～るバレーボール (3)情報交換会	普段は運営側で、実際にプレーする機会の少ない体育委員が参加し、他地区の体育委員と交流しながら、ワンフラを楽しみ、改めて体育事業の魅力を実感する機会となった。
体育事業	ニュースポーツの推進 《スポーツ振興》	ワンバウンドふらば～るバレーボール、囲碁ボール、ノルディックウォーク、グランドゴルフ、スポーツ吹き矢、クップ等	夏季スポーツ大会で実施したクップの評判が良かった。竹を使ってクップを作ったり、新しいスポーツを考えたも面白いかもしれない。

平成29年度 竜丘公民館 事業報告

	事業名等	実施内容	反省・総括
広報事業	館報「たつおか」発行 (期日) 年5回 (発行部数) 2,200部	・紙面を通じて、地域の現況を伝達するとともに、記録としての役割を果たす。また、地域課題・生活課題について問題提起を行う。 ・読みやすく親しまれる館報づくりを行う。 ・館報「たつおか」339号～343号の発行を行う。 ・竜丘地域自治会のHPを活用した広報活動を推進する。	・公民館活動や地域の取り組みなどをできる限りタイムリーに提供できるよう努めた。 ・HPに発行した館報を掲載している。今後も引き続き掲載していく。 ・地域課題の提起として、地区内での絶滅が危惧されるギフチョウについて、連載記事を掲載している。 ・事業の報告等でも、子どもに関する記事や、なるべく取材をして執筆し、親しまれる紙面作りを意識した。
民俗資料保存事業	民俗資料保存事業 (期日) 通年 《文化の伝承と充実》	地域の有形・無形の民俗資料を後世に伝えるための収集・保存活動を行うとともに、それらを広く公開していく。 重点事業 (1) 木下紫水関連資料の整理・保存 (2) 祠、社、御堂等調査活動(長野原・時又・桐林) (3) 現代の記録映像作成 (4) 民俗資料館の維持管理及び資料館の今後についての検討 (5) 収蔵品の虫干し(7月30日) (6) 竜丘自由画保存顕彰委員会への参画 (7) 文化祭展示内容のスクラップ作成 (8) 小学生をはじめとした地区住民への民俗資料の広報と活用体験学習等	6月の古墳まつりに協力 7月10日に木下紫水に関する資料のデータ化作業を実施。 民俗資料館の収蔵品の虫干しは、雨のため中止。 11月18日に企画委員長を交え、委員会の活動に関して協議。 文化祭では長野原の石造物の調査発表と秋葉様信仰について展示、秋葉様信仰は身近な信仰対象として、多くの方にご覧いただいた。 2月15日に竜丘小学校3年生が、民俗資料館を見学し、実際に古道具を使用した。皆、目を輝かせて古道具に触れ、委員にとっても新たな発見があった。 公民館委員をはじめ、住民の方に広く民俗資料保存の大切さや意義を知っていただくための努力をしていきたい。また、委員の募集にも努めていきたい。 範囲が広くやり残したことも多くあるが、地道にコツコツと歩んでいきたい。
民俗資料保存事業	自由画保存顕彰委員会への参画 (期日) 通年 《文化の伝承と充実》	竜丘地区内には、大正期の自由教育や自由画教育に関する資料が数多く残されている。 これらの資料などの適切な保存や顕彰が必要とされており、自由画保存顕彰委員会で調査、保存活動を行っており、この活動に協力する。	5月11日から19日まで、上郷の「アートハウス」で児童自由画を展示。児童自由画の意味を理解していただくことに努めた。 8月豊丘民俗資料館にて県内の児童画展に、レプリカを貸出し、竜丘の児童自由画の素晴らしさが確認された。
育成事業	青少年クラブ支援 (期日) 通年 《家庭等との連携》	青少年の健全な育成に資する、各種クラブを支援する。 募集チラシの配布等	青少年クラブ(野球、サッカー、バレーボール、卓球、柔道、剣道、詩吟、鈴岡太鼓など)の支援
育成事業	飛んでいるギフチョウを見る会 (期日) 4/8(土) (会場) ギフチョウ公園 雨天中止 《家庭等との連携》	飯田昆虫友の会の事業に参加協力。 竜丘の宝であるギフチョウについての学習を深める予定であったが雨天中止となってしまった。	雨天中止となってしまった。 小学校の遠足でもギフチョウの観察を行うので、それに先駆けて学習を深めることを続けていきたい。 その後の調査でも産卵が確認されず、絶滅の危機となっている。
育成事業	小学校はにわ作り支援 (期日) 5/8・9(月・火) (会場) 竜丘小学校 《家庭等との連携》	社会科の歴史の授業で古墳について学習する6年生を対象に埴輪作りを指導。	竜丘で出土している円筒形埴輪の制作を指導した。住民と小学生との作業を通しての活動は会話も弾みよい交流の場となっている。授業とつながるコミュニティースクールの活動となっている。学業日となっているので参加できる人が限られる。

平成29年度 竜丘公民館 事業報告

	事業名等	実施内容	反省・総括
育成事業	第10回竜丘古墳まつり (期 日)6/11(日) (会 場)塚原古墳群 (参加人数)250名 《家庭・学校・地域との連携》	第10回記念大会であり、前日の10日(土)に小林正春氏の講演会を竜丘公民館で実施。62名が参加。竜丘の誇る文化遺産を会場に、竜丘全体のまつりとして位置づけている。学びと交流を通して、古墳を広く知ってもらい今後の有効活用、保存活動に繋げていく。他地区にも通知を行い参加を呼びかける。小学生が作った埴輪の野焼き、勾玉作り、火おこし体験、教育委員会による展示、古代食コーナー、埴輪作り体験、富本銭作り、古墳巡り、花の植え付け等。	回数を重ね第10回を数え、各ブースのイベントは円滑に行えるようになってきた。天候にも恵まれ、事前の広報活動が功を奏してか250名と多くの参加者が楽しんでくれた。竜丘古墳の会をはじめ各種団体の協力で古代の生活の一部やその魅力について伝えられた。今後も、無理のない範囲で長く続けていくことができる活動としたい。野焼きで破損してしまう埴輪が出てしまうが、修復して渡してあげられる方法を模索したい。
育成事業	水辺の楽校 (期 日)9/10(日)他 (参加人数) 草刈り等作業 延べ339名 交流イベント 130名 《家庭・保育園・学校・地域との連携》	PTAと共催事業。草刈り作業は各種団体と連携し、小学校構内作業時にはPTAと小学生が参加して作業を行う。草刈り作業等は年3回、交流イベントでは、自然体験学習、顕微鏡での観察、魚のつかみ取り、ニジマスの塩焼き。本年度は、飯田OIDE長姫高校の生徒による竹水鉄砲のブースを開設。	草刈り作業からPTAと協力しながら行う。年1回のイベントのために3回の草刈り作業や泥上げ作業を行うのは効率が悪い。今後、水辺の楽校を通年利用できるような企画や体制作りが必要。→竜丘水辺の楽校と協力 水辺の楽校では、自然に興味のある子どもが多く参加するが、興味のない子どもにも魅力のあるイベントが必要。 高校生の竹水鉄砲は好評。大人と子どもの間を埋める高校生の存在はイベントの中でも大きい。
育成事業	あいさつ運動 (期 日)統一行動 8/28 (会 場)各分館 《家庭・保育園・学校・地域との連携》	標語の募集・選定、のぼり旗作成、あいさつ運動月間の周知、各分館でのあいさつ運動現地指導 (1)あいさつの大切さを見直す機会とする。 (2)大人と子どもがあいさつを通して安全安心な地域作りを行う。 (3)できるだけ多くの団体と連携して行う。 分館では統一行動日以外にもう1日行動日を設定して実施。	8月28日を統一行動日としてPTAの協力のもと地域全体であいさつ運動を展開した。これに合わせ小学校の朝会でもあいさつについての話をさせていただき、あいさつの大切さについて深める機会をとれた。 分館では、統一行動日以外にも行動日を設定。分館から小学生や高校生のあいさつがよくできていたことが報告された。中学生の登校時間と合わなかったようで中学生のあいさつについての報告はなかった。 子どもを含めた地域住民同士のあいさつが防犯活動の基礎となっていくことを考えると、のぼり旗を含めあいさつ運動期間以外にもあいさつの啓発を行っていくことを検討する必要がある。
古墳の会	全体事業 《文化の伝承と充実》	・竜丘古墳の会総会 6月22日(木) 出席者:21名 ・古墳の会役員会 (5月27日、8月17日、11月2日、3月15日) ・文化祭出展	国の史跡指定を受け、見学者の増加を見据えた古墳案内に関わる協議を中心に行った。 また、第10回古墳まつりの開催を全面的に支援した。

平成29年度 竜丘公民館 事業報告

	事業名等	実施内容	反省・総括
古墳の会	学習部会事業 《文化の伝承と充実》	・竜丘小学校丘のみちしるべ探索 5月11日(木) 対象:竜丘小6年生67名 ・塚原二子塚古墳クイズラリー 6月11日(日)古墳まつり内 参加者:多数 ・学習会 6月10日(土) 第10回古墳まつり記念講演会「人馬 一体で造り上げた古代ヤマト王権～ 伊那谷の馬生産を背景に～」 講師:小林正春氏 参加者:62名	第10回古墳まつりを記念し、6/10に 記念講演会を実施。多くの方が聴 講し、改めて国の史跡に指定された 背景を学ぶ機会となった。また、翌 日の古墳まつりでは、小学生を対象 に恒例となった塚原古墳群のクイズ ラリーを開催。多くの子どもが話に耳 を傾けてくれた。古墳に親しみ、少 しでも古墳のことを知ってもらえる機 会となった。
古墳の会	塚原二子塚古墳公園 推進部会事業 《竜丘らしい原風景の 維持》	・花法師の会、カタバミの会活動 ・埴輪づくり指導 5月8・9日(月・火) 対象:竜丘小6年生67名 ・トンボ玉づくり 竜丘地区文化祭内11月11・12(土・ 日) 参加者:多数 ・除草作業 5月27日(71名)、8月19日(59名)、 10月14日(44名)	花法師の会を中心として塚原二子 塚古墳周辺にサルビアなどを植栽、 古墳まつりでも参加者に植栽を行っ てもらい、親しむきっかけとした。 また、花法師の会の有志で、古墳カ レーの試作を行った。古墳を軸とし た地域振興策の検討が期待される。 また、古墳公園・遊歩道整備委員会 と協働で、除草作業を行った。 古墳まつりに向けた、小学校6年生 の埴輪作りの指導では、ただ作るだ けでなく、何のために作られたかな どの説明も行った。
古墳の会	調査・広報部会事業 《文化の伝承と充実》	・各種団体の視察受け入れ 5月11日:竜丘小学校丘のみちしる べ探索(70名) 6月16日:龍江小学校児童(25名) 9月23日:飯田市観光公社(26名) 10月21日:上郷考古資料館(15名) 10月29日:まほろば会(35名) 11月13日:郡市館長会(30名) 11月14日:シニア大学(20名) 1月7日:竜丘歩こう会(26名) ・HP上での広報活動 ・教育委員会、古墳を語る会での案 内活動	史跡指定を受けて、古墳案内の希 望が増加したため、昨年作成したパ ンフレットに続き、古墳見学のモデ ルコースを作成。古墳の会役員を中 心に受け入れを行った。 見学受け入れにあたっては、古墳の 会役員だけでなく、案内者の養成が 必要であり、講習会を実施した。どう すれば竜丘らしい案内ができるの か、見学者が喜んでくれるのか、皆 で話し合いを重ねていく必要があ る。また、出土品の調査も併せて実 施した。
自由画 保存 顕彰 事業	調査保存研究事業 (期日)通年 《文化の伝承と充実》	・原画を適切に保存し、後世に引き 継ぐ。 ・竜丘の文化財として保存顕彰して いくため、調査研究、学習活動を行 うと同時に、広く地区内外へ周知 し、顕彰活動を行う。	原画の保存作業は平成27年度に中 性紙の箱に保存し、一段落してお り、今後は虫干しを行いながら適切 な保存に努める。 レプリカの吊り紐の更新は随時実施 している。
自由画 保存 顕彰 事業	児童自由画レプリカ活 用事業 (期日)通年 《文化の伝承と充実》	・常に小学校では全ての自由画が 観賞できる環境を整える。 ・公民館でもレプリカを1セット用意 し、様々なところで展示し、顕彰活 動につなげる。 ・レプリカ貸出し 5月11日(木)～5月19日(金)上郷 アートハウス 8月11日(金)～8月18日(金)豊丘 民俗資料館	小学校では自由画考古室で常に児 童自由画のレプリカが飾られ、子ど もだけでなく保護者なども見られる 環境が整っている。 また、昨年に引き続き上郷のアート ハウスでの展示に加え、豊丘民俗 資料館で実施された「子どもの絵画 百年館展」にレプリカを貸出し、多 くの方に見てもらうことができた。

平成29年度 竜丘公民館 事業報告

	事業名等	実施内容	反省・総括
自由画保存顕彰事業	自由教育 (期 日) 通年 《文化の伝承と充実》	自由画の背景にある自由教育の研究について検討する。	小学校から、自由教育に関する副読本のような教材を求められており、資料館的な物のあり方と併せて今後検討する必要がある。
	大人の学校 (期 日) 通年(原則月1回) (参加人数) 延べ約1400人 《生涯学習の推進》	60歳以上の住民を対象に、高齢者層のまとまりと生きがい、地域参画を図る。 運営委員中心にして、月1回の定例講座を開催する。テーマについては、生活を取り巻く様々な課題を取り上げる。クラブ活動など必要な生涯学習の支援を行う。 運営委員会・班長会・定例会(講座)・クラブ長会などを随時実施。	高齢化社会の地域において、益々重要な役割を果たしている。学習の成果を地域へ還元していくことを視野に入れて、小学校クラブの学習支援を行っている。 運営委員会では楽しむだけでなく、設立当初の理念を大事にし、活動の意義を確認しながら、積極的な学習講座を展開している。特に、健康については毎月の講座に合せて、保健師から話をしてもらうなど、重点的に取り組み始めた。 大人の学校自体の高齢化や会員減少が進んでおり、地域の方々に目を向け、活動を展開していく。
	「好友会(ハオウカイ)」日本語教室 (期 日) 通年(月4回) (参加人数) 延べ480人	中国帰国者やベトナム等からの研修生を中心に、生活に困らない程度の日本語、習慣、文化の理解、情報交換、交流の場とする。 週1回日本語教室を開き、地域で暮らす仲間として互いの生活習慣や考え方を学びあう。 また月2回、新聞を発行し、地域への情報を発信、帰国者への情報伝達を行う。 講師: 樫野武司(桐林)、西川和憲(松尾新井)	このような支援事業は市内には少なく、貴重な機会となっている。今後も日常生活習慣、教育・保育、趣味、医療など広範にわたっての話題をとりあげている。 中国帰国者だけでなく、ベトナムからの企業研修生等、参加者が広がっている。日本の文化を知り、地域に溶け込む重要な役割を担っているが、講師も高齢となり、事業の存続自体が課題となっている。後継者の発掘が急務となっている。
	乳幼児教育支援 (0.1.2.3歳児学級) (期 日) 通年 《家庭等との連携》	0歳児、1歳児、2歳児、3歳児の親子を対象に、育児不安を解消し、親の交流、親子のふれあいの場とし、また既存のサークル活動へ結びつける。 乳児の成長発達や育児法などについて学習する。 育児相談、情報相談の場とする。 講師に保健師、保育士資格者をお願いし育児法、子どもの接し方等について学ぶ。 親の個人相談等保健師に依頼する。 9月9日(土)にコーディネーショントレーニングを体験する特別学級を実施。	保健師・保育士とともに実施。子供の成長に合わせた遊びなどを行うとともに、同年代の子供同士、親同士の交流も深める。 また、子育てに関する悩みなどについても、保健師を中心に相談を受け、子育てを支援している。 20代～30代の女性が公民館に関わる貴重な機会であり、悩みや地域への思いなどを聞き、公民館活動につなげていきたい。 試験的に実施したコーディネーショントレーニングの体験(オカノコッククラブ)では、2・3歳児の体験は難しかったが、親に対しては子どもとの関わり方を考える良い機会となった。もっとこのような機会を設けて欲しいといった要望もあり、今後検討していきたい。

平成29年度 竜丘公民館 事業報告

事業名等	実施内容	反省・総括
家庭教育講座 (期 日)11/29(水) (会 場)竜丘公民館 (参加人数) 名 《家庭等との連携》	竜丘保育園との共催で行う。 親子での人形劇の観劇を通し、親子のふれあいを図るとともに、その後の保護者を対象に家庭教育についての講演会を行う。 劇団: マシュ&kei 演目: ミュージック・クラウンショー、せかいのおんがく～ミニミニVer.～ 講演: 園長先生からのお話	竜丘保育園との合同で開催。園児やその保護者、未就園児の親子に人形劇を観劇することで、異年齢交流や人形劇のまちづくりにつながる機会となった。 観劇後の講演は内容やタイミングを検討するなど充実させ、今後も家庭教育事業を継続していく必要がある。
小学校クラブ活動支援事業 (期 日)5～7月 《家庭等との連携》	小学校の17のクラブ活動の指導を大人の学校を中心に地域の講師(地区の匠)が行った。 全10時間の指導とクラブ発表会を支援した。	社会教育団体の地域貢献と、世代間交流の意味から重要な事業となっている。コミュニティスクールをきっかけとして、地域の子どもを地域で育てる活動の中核事業として充実させていきたい。
Cブロック公民館情報交換会 (期 日)7/8(土) (会 場)南信濃公民館 《生涯学習の推進》	文化、体育、広報、育成の5地区の委員が集まり、それぞれの分科会に分かれ研修や情報交換を行った。 分科会は①地域や私の“今昔”語らまいか、②クッパ、③館報作成の基礎を学んで実際に外に出てみよう	この情報交換会で学ぶことが多くあるため、継続して行っていく。
JICAへの協力 (期 日)8/22(火)	JICAのプログラムPLSD研修を受け入れ。 自治や公民館についての講義、現地研修等を実施。 竜丘公民館本館での受け入れに加え、駄科分館での受け入れも継続され5年目となった。	竜丘をはじめとした飯田市の公民館活動が、途上国を中心に注目を集めている。住民交流や地域自治、学習機関としての公民館の有用性が認められ、「公民館の輸出」も行われている。駄科分館での視察受け入れは、JICAから高評価を受け、PLSD研修に組みこまれている。この研修を通して、飯田の地域のすごさを学び、公民館活動を見つめ直すよい機会となっている。 竜丘地区からは、下平隆司氏、宮嶋聡子氏、鈴木運友氏が講師として登壇した。
緑ヶ丘中学校区少年少女スポーツ団体支援事業 (期 日)5/25(木) (参加人数)約30名 《家庭等との連携》	応急処置講習会を、飯田市スポーツ推進委員との共催で実施。 内容:救命処置(AED)。骨折への対応、熱中症の予防・対応、止血処置他	青少年スポーツ活動で起こりうる怪我への対応やAEDの使用方法等について講習会を実施した。一年間の活動に備えてもらえるよう、年度当初に実施したが、竜丘からの参加者は3名であった。スポーツ団体を運営する側としての責任感を持ち、より多くの関係者の出席をよびかける必要がある。
飯田市公民館大会参加 (期 日)2/18(日) 《生涯学習の推進》	第55回飯田市公民館大会に参加 分科会のテーマは「もっと楽しもう！人形劇フェスタ」「地域の子ども達についてについて語ろう～私たちができること～」「ふるさと学習～地域の宝に込められた先人の想いを探る～」「公民館を見つめ直す～わたしや地域にとっての公民館活動とは～」「地域課題にせまる館報・広報」「ムトスの心で、地域に活動の輪を広げよう！」	竜丘からは20名が参加。基調講演では「人形劇による地域づくりと人づくり～これまでの歩みとこれからの可能性～」の講演を聞き、その後、分科会では共通のテーマを基に、他地区の事例を聞くと共に、情報交換を行った。公民館活動を振り返る機会となった。
飯田市コーラスコンクール参加 (期 日)2/25(日) 《生涯学習の推進》	飯田市コーラスコンクールへ竜丘コーラスが参加	竜丘住民が中心である社会教育関係団体が参加。生涯学習の面からも、今後も支援していく。